

KONAMI

2022年度 コナミグループ中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

コナミグループ株式会社

証券コード：9766

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社は7月1日をもちまして商号をコナミグループ株式会社へ変更いたしました。1973年3月の設立以降、日本のエンタテインメント業界の先駆者として事業を拡大し、現在はデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、ゲーミング&システム事業、スポーツ事業の4つの事業を展開しております。今般の商号変更は、設立50周年という節目において、今後もグループ企業が一体となり新たな挑戦を進め、持続可能な企業として更なる成長を目指すという決意を込めたものです。次の50年におけるコナミグループの更なる飛躍にご期待ください。

その中長期的な成長を実現するにあたっては、優秀な人材を確保し、クリエイターがベストなパフォーマンスを発揮することができる最高水準の研究開発環境を整えることが重要です。その観点から、この度、東京の有明に次世代研究開発拠点「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」を建設することとし、この10月に着工しました。2025年の竣工に向け、ニューノーマル時代の働き方も踏まえた新しいワークプレイスに対応したオフィスを整備し、人的資本への投資、健康経営を通して、競争力を強化していきます。

今後当社が研究開発を進める領域には、AI、5G / 6G、VR / AR、NFT（非代替性トークン）、WEB3、メタバースなど次世代のテクノロジーやサービスが密接に関わってきます。また、モバイル端末や家庭用ゲーム機器などのデバイスの高性能化、クラウド技術を活用した新たな配信プラットフォームの登場などにより、エンタテインメントのビジネスを展開するフィールドとそのポテンシャルがますます拡大しています。当社が展開するデジタルエンタテインメントの分野にとっては、まさに大きな成長を遂げる好機となります。

スポーツ市場では、水泳スクールなどの子供向けのサービスに対するニーズが高まっており、幅広い年齢層に対応した総合型フィットネスクラブの資産・設備を有効活用してまいります。ウェルビーイングの実現が持続可能な社会における重要課題となる中、運動を通じて健康を維持することの社会的な意義は大きく、当社の果たす役割と責任は重みを増していると考えます。

このような環境のもと、「エンタテインメント」と「スポーツ」の2つの分野で商品・サービスを提供する当社にとってビジネスを展開するマーケットは大きな広がりを見せています。今後のコナミグループの更なる発展にご期待ください。

なお、2022年度の一株当たりの中間配当金につきましては前年度比で25.5円増配の62.0円とさせていただきます。中間配当金としては過去最高であり、今後も成長に不可欠な投資を通じて業績拡大を実現し、更なる配当水準の向上に努めます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

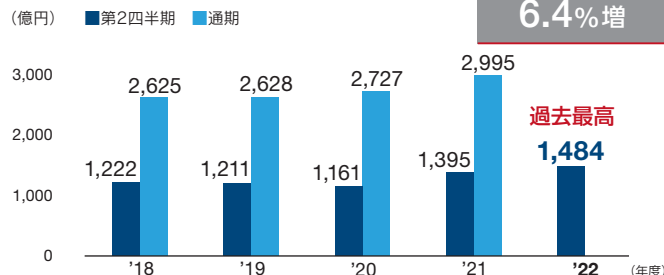


代表取締役社長
東尾 公彦

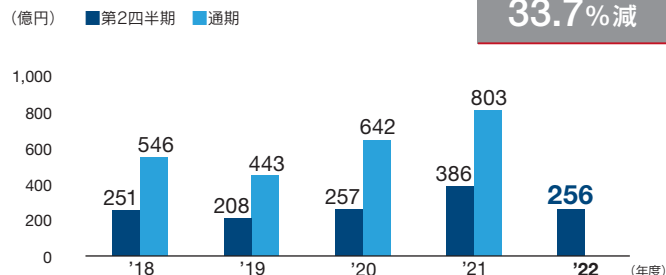
第2四半期連結決算ハイライト

注：国際会計基準(IFRS)に準拠して表示しています。

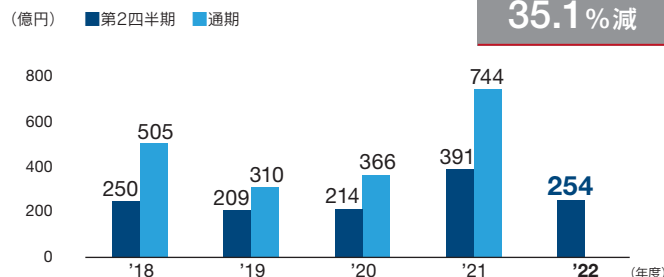
売上高



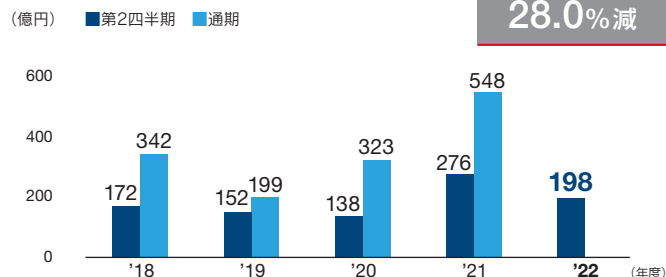
事業利益



営業利益



親会社の所有者に帰属する四半期利益



当第2四半期連結累計期間の売上高は1,483億5千9百万円(前年同期比6.4%増)、事業利益は256億1千1百万円(前年同期比33.7%減)、営業利益は253億9千6百万円(前年同期比35.1%減)、税引前四半期利益は274億7千9百万円(前年同期比28.9%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は198億4千7百万円(前年同期比28.0%減)となりました。

デジタルエンタテインメント事業では、新しい取り組みとして、マルチデバイスで新たに使用可能なチームや選手を追加し、操作性の向上を追求した『eFootball™ 2023』の配信を開始したほか、モバイルゲームでは4人同時対戦の新感覚のカードゲーム『遊戯王クロスデュエル』を配信開始しました。また、継続した取り組みとしては、『プロ野球スピリッツA』と『遊戯王 マスターデュエル』が順調に推移しています。カードゲームでは、『遊戯王トレーディングカードゲーム』がグローバルで売上を伸ばしたほか、『遊戯王 マスターデュエル』をきっかけとして新しく触れたお客様、再び遊び始めたお客様も加わり、『遊戯王』コンテンツ全体で相乗効果が生まれています。eスポーツでは、すべてのプレイヤーが参加可能で、プラットフォームごとにNo.1プレイヤーを決める『eFootball™ Championship Open 2022』を開催し、大きな盛り上がりを見せました。

アミューズメント事業では、アミューズメント施設向けビデオゲームの『麻雀

格闘倶楽部 Extreme』で、シリーズ20周年を象徴するプロ雀士を決める投票イベント等を実施しました。また、アーケードゲームをPCやスマートフォンでも楽しむことができるサービスの『コナステ』が引き続き堅調に推移しています。

ゲーミング&システム事業のスロットマシンでは、北米市場、豪州市場において、複数の賞を受賞している『DIMENSION』シリーズが引き続き注目を集めています。ゲーミングコンテンツでは『All Aboard™』が約2年にわたり業界トップクラスの稼働を記録しているほか、カジノマネジメントシステムでは、キャッシュレスカジノを実現する『Money Klip™』など、多彩な機能を充実させ、引き続き堅調に推移しています。

スポーツ事業では、施設でのサービス提供に加えてオンラインサービスを充実させるなど、安全・安心な運動機会の提供に努めました。また、受託事業において、これまで培った運営・指導のノウハウや実績を活かし、新たなスポーツ施設の業務受託運営や学校水泳授業の受託を開始しました。こども向け運動スクール『運動塾』においては、映像とAIを活用したデジタルサービス『運動塾デジタルノート』の提供を引き続き推進しています。

より詳細な財務情報については、当社ホームページに掲載している決算短信などをご覧ください。

<https://www.konami.com/ir/ja/ir-data>

トピックス

デジタルエンタテインメント事業



人気IPの最新の取り組みを多数紹介 「東京ゲームショウ2022」に出展

KONAMIは、2022年9月に開催された国内最大級のゲーム展示会「東京ゲームショウ2022」にて、1月にリリースしたデジタルカードゲーム『遊戯王 マスターデュエル』、9月にリリースした最新作『遊戯王クロスデュエル』に加え、2023年に発売予定の新作『スーパーボンバーマン R 2』など、当社を代表する様々なコンテンツを体験できるブースを出展しました。

さらに、KONAMIの人気IPを活用する新たな取り組みとして、1995年の発売以来長く愛されている「幻想水滸伝」シリーズの『幻想水滸伝 I&II HDリマスター』の制作を発表しました。また、幅広い世代に親しまれている「桃太郎電鉄」を教育分野で活用する取り組みとして、ブラウザ版『桃太郎電鉄 教育版 Lite』の制作を発表し、大きな反響をいただきました。本作はPCやタブレット等で、ボードゲームを楽しみながら地理や経済を学ぶことができ、2023年より無償で学校教育機関への提供を開始します。

今後もコンテンツを幅広く展開し、より多くのお客様にKONAMIの魅力をお伝えしていきます。

アミューズメント事業



「esports×音楽」の新感覚エンタテインメントが今年も開幕 「BEMANI PRO LEAGUE -SEASON2-」

KONAMIが主催する音楽ゲームのeスポーツ大会「BEMANI PRO LEAGUE -SEASON2-」が、参加チーム・機種を増やして開催され、2021年を超える盛り上がりを見せています。

KONAMIを代表する音楽ゲーム『beatmania IIDX』部門は2年連続で開催され、参加する8チームの激戦の模様と、様々なアーティストによる豪華なライブを、YouTube公式チャンネルで配信しました。最終戦はライブイベント「BEMANI PRO LEAGUE -SEASON 2- × EDP 2022」として東京ドームシティのプリズムホールにて有観客で開催され、「esports×音楽」の新感覚エンタテインメントを会場と配信でお届けしました。

今後は、若年層からの支持が厚く、2022年1月に稼働10周年を迎えた『SOUND VOLTEX』部門と、全世界で高い人気を得ているダンスゲーム『DanceDanceRevolution』部門の開催を予定しています。

参加しても観戦しても楽しい、KONAMIタイトルの「面白い」・「楽しい」を、より多くのお客様に届けていきます。

ゲーミング&システム事業



スロットから最先端システムまで幅広く紹介 「Global Gaming Expo 2022」に出展

米国ラスベガスで2022年10月に開催された業界最大級の展示会「Global Gaming Expo 2022」に出展しました。

会場では、主力商品「DIMENSION 49™」に搭載された、賞金が何倍にも増えるジャックポットが魅力の新タイトル『Lucky Drums™』や、湾曲した75インチの特大モニターが特徴の新筐体「DIMENSION 75C™」専用の人気タイトル『All Aboard™ multi-game edition』など、期待の新タイトルを搭載したマシンを展示しました。

また、数々の受賞歴のあるカジノマネジメントシステム「SYNKROS®」をライブデモで展示するとともに、過去の競馬のデータを基にした「ヒストリカルホースレーシングマシン」やニューヨーク州の公営くじ「ビデオロッターターミナル」、ネイティブアメリカンカジノで稼働が認められている「クラスII」など、当社が注力している分野に向けたコンテンツも数多く紹介し、成長分野の関係者の注目を集めました。

今後もクリエイティブな商品を開発し、世界中に新たなエンタテインメントを届けていきます。

スポーツ事業



Pilates Mirror

by Konami Sports Club



<https://www.konami.com/sportsclub/pilatesmirror/>

©Konami Sports

天井ミラーを使った女性専用ピラティススタジオ 「ピラティスマirror」2号店を吉祥寺にオープン

コナミスポーツは、女性専用スタジオ「ピラティスマirror」2号店を2022年8月、吉祥寺（東京都武蔵野市）にオープンしました。2021年6月に二子玉川（東京都世田谷区）にオープンした大人気の1号店に続いて、多くのお客様にご好評いただいています。

ボディラインや姿勢の改善に効果的なピラティスと、自分の身体の動きを確認できる鏡を組み合わせたスタジオ「ピラティスマirror」は、初心者の方でも専用器具「リフォーマー」と鏡を用いて正しいフォームを身に付けられる施設です。レッスンは1回30分で荷物や着替えを持たずに受けられる手軽さながら、少人数制レッスンでインストラクターのきめ細かなサポートを受けることができ、「リフォーマー」と鏡を使って効果的なエクササイズを実現することができます。

2022年12月には桜新町（東京都世田谷区）に3号店をオープンするなど、今後さらに店舗数を増やしていく予定です。楽しみながら心身の健康を育むことができる「ピラティスマirror」をさらに多くのお客様に提供していきます。

KONAMI最前線

コナミグループの次世代研究開発拠点

「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」の建設工事着工

KONAMIは2023年3月に会社設立50周年を迎えます。半世紀にわたる成長ステージの過程において世界各地に数多くの拠点を設置してきましたが、今般、更なる持続的な成長を実現するため、コナミグループの次世代研究開発拠点として、東京都江東区有明に「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」の建設工事を着工しました。

「クリエイティブフロント」とは、クリエイターがその力を最大限発揮できるよう設計された空間、創造に向かい合う最前線という意味が込められたコンセプトです。「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」は、クリエイターによる議論から生み出されたコンセプトを基に、アフター

コロナ時代の働き方やオフィスの在り方にも対応した最新の設計となります。

また、「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」の建設により、デジタルエンタテインメント事業を中心にWEB3やインターネット上の仮想空間であるメタバース等に対応した革新的な技術・サービスの研究開発を拡充し、競争力の強化を実現いたします。

更には、最先端の研究開発に必要な環境を整えると同時に、東京ビッグサイト等が立地する「国際コンベンションゾーン有明」を世界に発信し、地区全体のにぎわいを創出する複合施設として、eスポーツをはじめとす

KONAMI CREATIVE FRONT

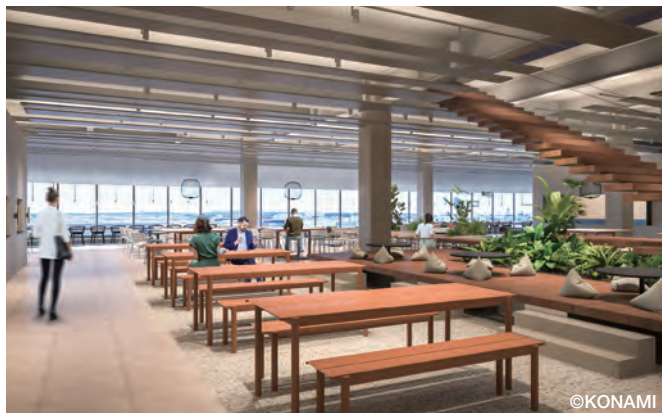
T O K Y O B A Y



「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」完成イメージ図



屋上庭園 完成イメージ図



社員用カフェ・ダイニング 完成イメージ図



オフィス空間 完成イメージ図

るイベントの生放送や動画配信などにも対応したスタジオやショップ等の設置を計画しています。

「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」のオフィス部分は、アイデアやイノベーションの創出につながる偶発的なコミュニケーションを促進するような、すべてのフロアがスパイラル状につながる構造が特徴となります。

また、開放感があり、緑化を図った屋上庭園や最新の設備を備えたスタジオが、商品・サービスを生み出すクリエイティビティをサポートします。

「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」は、2025年の竣工を予定しています。

コナミグループは、「コナミクリエイティブフロント東京ベイ」を新たな拠点に、次の50年においても時代の新たな波頭をとらえるべく次世代に向けた商品・サービスの開発を強化し、持続的な成長を目指していきます。

建築概要

名称	コナミクリエイティブフロント東京ベイ
所在地	東京都江東区有明三丁目1番17(地名地番)
建築主	コナミリアルエステート株式会社
敷地面積	11,155.82㎡
延床面積	56,477.95㎡
階数	地上8階、地下1階
竣工予定	2025年予定
設計	株式会社日建設計
施工	大成建設株式会社

会社概要

商号	コナミグループ株式会社
英文商号	KONAMI GROUP CORPORATION
本店	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目11番1号 TEL (03) 6636-0573 FAX (03) 6893-1573
創業	1969年3月21日
設立	1973年3月19日
資本金	47,398百万円
連結従業員数	8,941名 (2022年9月30日現在) (月間160時間換算の臨時従業員含む)
ホームページ	https://www.konami.com

株式の状況 (2022年9月30日現在)

授權株式数： 450,000,000株
発行済株式総数： 143,500,000株 (うち自己株式8,004,425株)
株主数： 24,223名
大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	30,130	22.24
一般財団法人上月財団	17,100	12.62
KOZUKI HOLDING B.V.	15,700	11.59
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	15,028	11.09
コウツキキャピタル株式会社	7,048	5.20
JP MORGAN CHASE BANK 380815	6,530	4.82
KOREA SECURITIES DEPOSITORY-SAMSUNG	3,541	2.61
HSBC HONGKONG-TREASURY SERVICES A/C ASIAN EQUITIES DERIVATIVES	1,786	1.32
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,631	1.20
STATE STREET BANK WEST CLIENT -TREATY 505234	1,561	1.15

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031 (平日9:00-17:00)
ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載する https://www.konami.com

【単元未満株式の買取または買増請求について】

所有される株式のうち、単元未満 (100株未満) の株式につきましては、株式市場での売買ができず、株主総会での議決権もございません。

当社では、このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取」または「買増」を請求できる制度を実施しています。

詳細につきましては右記までお問い合わせください。

一般口座をご利用の株主様	口座のある証券会社
口座をお持ちでない株主様 (特別口座の株主様)	三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (平日9:00-17:00)

